

■フランス：政府、ル・アーブル石炭火力廃止後の地域振興のための協定作成を開始

ド・リュジ環境移行・連帯大臣およびヴァルゴン同副大臣は 2019 年 4 月 12 日、石炭火力発電所が立地するフランス北西部のル・アーブルを訪問し、「環境・産業移行のための地域協定」(PTTEI) の作成作業を開始したことを発表した。フランスでは、2017 年の「気候変動計画」において、「2022 年までに国内 4 カ所の石炭火力全廃」が決定しており、同協定は、石炭火力廃止後の地域振興を、産業面・環境面から支援するためのもの。ヴァルゴン副大臣は、「この協定作成のために、まずはプロジェクトの考案、続いて資金調達を進める。また、シーメンス社の工場建設など、既に進行中のプロジェクトも支援対象となる」としている。